

親子聖書日課

[日]どんなに良い行いをしても、「主の怒りの日」が全ての人に臨みます。人には罪があるからです。しかし、「身を守られる」唯一の方法があります。それは「恵みの業を求める」主の十字架の赦しを受け入れるなら、永遠の命に与れます。

[月]主を信じた時から、主は生涯、心の中に住んで下さいます。但し、主を心の片隅ではなく、心の中心に迎えましょう。それは、自分の心の王座を主に明け渡し、主に従うことです。主が戦って勝利を与え、喜び楽しみ、愛の人に変えて下さいます。

[火]生活が祝されないのは、自分の家のことを第一とし、主の宮を軽んじるからだ、主は言われました。マイホームではなく、ヒズ(主)ホームを作ることです。信仰という内なる神殿を建てましょう。そのために、「山に登り、木を切りだす」ことです。

[水]捕囚解放後、民は神殿の再建に当たりますが、ソロモン時代とは比較にならないほど小さく、落胆します。しかし、主は「新しい神殿の栄光は昔の神殿にまさる」と言われます。上尾教会も昔の神殿にまさるのは、主が共にいて下さるからです。

[木]主は何度も民に向かって、「悔い改めて、私に立ち帰れ」と言われました。しかし、民は悪の生活を好むが故に、主に聴き従いません。それでも主は立ち帰るのを待っています。放蕩息子のように、今すぐ立ち帰るなら、主の赦しを頂けます。

[金]軍備は国の安全保障にはなりません。むしろ、敵対関係を生み出すだけです。主が建てられる都に軍備はないのです。主御自身が「町を囲む火の城壁となり」栄光となって下さいました。神を信じるなら、敵対する人とも和解が生まれます。



[土]「燃えさし」は無用なものに見えます。サタンも「そんなものは火の中に放り込んで灰にしろ」と訴えます。しかし、主は無きに等しい者を選ばれます。燃えさしである私達も、主の火である聖霊を頂く時、信仰が燃やされ、主に用いられます。

NO.1930 2025.9/21-27

名前

	聖書	問 題	答 え
日	ゼファニヤ 2:1-15	どんな業を求めるなら主の怒りの日に身を守られますか。	
月	3:1-20	お前の主なる神は、お前のどこにおられますか。	
火	ハガイ 1:1-15	山に登り、木を切り出して、何を建てるべきですか。	
水	2:1-23	新しい神殿の栄光は昔の神殿に比べ、どうだと主は言われましたか。	
木	ゼカリヤ 1:1-17	私にどうせよと、万軍の主は言われましたか。	
金	2:1-17	私自身が町を囲む何となると、主は言われましたか。	
土	3:1-10	ここにあるのは火の中から取り出された何ですか。	
感想と祈りの課題			